

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I

教科： 外国語 科目：英語コミュニケーション I

科目： #REF!

単位数：

3単位

対象学年組： 第 1 学年 組～ 組

教科担当者： （1組：高橋薫） （2組：高橋薫） （3組：高橋薫） （4組：後藤貴子） （5組：後藤貴子） （6組：後藤貴子）

使用教科書：（ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I）

学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

単元の具体的な指導目標	領域				評価規準	知	思	態
	聞	読	話（や）	話（発）書				
Unit 1 What can happen in one second? 【題材内容】 学校新聞の記事などを通して、1秒間に世界で起こっていることについて学ぶ。 【言語材料】 受け身/不定詞/動名詞 【言語活動】 1秒間にどのように世界が変化しているかを説明する。 【言語の働き】 聞き直す/回答する	○	○	○	○	【知識】 ・受け身、不定詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・疑問詞やつなぎ言葉について、プレゼンテーションのスタイルに対応した適切な用法を理解している。 【技能】 疑問詞やつなぎ言葉などを用いて、身のまわりや世界で起きている話題について、聞き手へ問いかけたり、理由や根拠を示すなどしたりしながら、自分の考えや気持ちを話して伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 情報伝達型プレゼンテーションの場面で、身のまわりや世界で起きている話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報伝達型プレゼンテーションの場面で、身のまわりや世界で起きている話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。	○	○	○
Unit 2 What do superstitions mean to you? 【題材内容】 機内誌の記事などを通して、さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。 【言語材料】 助動詞+受け身/現在完了進行形 【言語活動】 迷信についての自分の価値観を述べる。 【言語の働き】 話し手（機内誌）と聞き手	○	○	○	○	【知識】 ・助動詞+受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・条件節と帰結節を用いて、要点を書いたり、具体例を提示したりしながら物事を描写する方法を理解している。 【技能】 条件節と帰結節などを用いて、迷信や信念について、読み手が誰であるかを意識しながら、要点を書いたり、具体例を提示したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ラッキーアイテムを紹介するために、身のまわりの迷信や信念について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して要点や具体例を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ラッキーアイテムを紹介するために、身のまわりの迷信や信念について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して要点や具体例を書こうとしている。	○	○	○
Unit 3 How can we promote sustainability? 【題材内容】 Eメールのやり取りなどを通して、ゼロ・ウェイスト政策について学ぶ。 【言語材料】 分詞の形容詞用法/関係代名詞 【言語活動】 世界中で人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを説明する。 【言語の働き】 話し手（Eメール）と聞き手	○	○	○	○	【知識】 ・分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・フォーマルな文体でEメールを書き、目的を伝えたり質問をしたりする方法を理解している。 【技能】 分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）などを用いて、フォーマルな文体で、目的を伝えたり質問をしたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 フォーマルなEメールを書く場面で、環境保全に関する内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 フォーマルなEメールを書く場面で、環境保全に関する内容について、聞いたり読んだり	○	○	○
Unit 4 What can we learn from native Hawaiians? 【題材内容】 博物館のパフレットなどを通して、ハワイ語やハワイ文化の歴史について学ぶ。 【言語材料】	○	○	○	○	【知識】 ・現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・事実と意見を分けたり、ポイントを絞って伝えたりするなど、スピーチのスタイルに対応した適切な方法を理解している。 【技能】 身のまわりの言葉や文化に関する話題について、事実や意見を分けたり、ポイントを絞ったりしながら、自分の考えや気持ちを話して伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】	○	○	○
Unit 5 Why do people tell each other stories? 【題材内容】 ウェブの記事などを通して、自分が体験したことを聞き手に語る際の秘訣を学ぶ。 【言語材料】	○	○	○	○	【知識】 ・SVOC [分詞]、関係副詞how、助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・体験談を伝えるために、適切な表現や方法を理解している。 【技能】 体験談を伝える際の表現や方法を用いて、身のまわりの出来事について、聞き手を引き付けながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝える技能を身に付けている。	○	○	○
Unit 6 What are the qualities of a good leader? 【題材内容】 オンライン百科事典の伝記などを通して、優れたリーダーシップをもつ人物の経歴を学ぶ。 【言語材料】	○	○	○	○	【知識】 ・分詞構文、関係副詞where[when/why]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・リーダーシップに関連した語いや表現を用いるなどして、人物の略歴を紹介する適切な方法を理解している。 【技能】 ある人物について、時系列で書いたり、略歴を紹介したりしながら、関連のある情報を簡潔かつ正確に原稿に書く技能を身に付けている。	○	○	○
Unit 7 Where will you live in the future? 【題材内容】 英字新聞の記事などを通して、今住んでいる場所を選んだ理由やそこの暮らしの魅力について学ぶ。 【言語材料】	○	○	○	○	【知識】 ・原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・場所に関連した語いや表現を用いるなどして、将来住みたい場所についてのエッセイを書く適切な方法を理解している。 【技能】 将来住みたい場所についてのエッセイを書くにあたり、パラグラフの構成を意識し	○	○	○

